

氏名	荒 木 徹
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 888 号
学位授与の日付	昭和 52 年 9 月 30 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 5 条第 2 項該当)
学位論文題目	腎盂腎炎の細胞性免疫に関する研究 変形菌による実験的ラット逆行性腎盂腎炎における adoptive immunity
論文審査委員	教授 大藤 眞      教授 田中早苗      教授 金政泰弘

#### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

腎盂腎炎の慢性化は臨床上大きな問題であるが、その一要因として host の感染防禦免疫能が関与するであろうと考えられる。この点について多くの研究がなされて来たが、それらはもっぱら液性免疫だけに目を向けていた。筆者は細胞免疫の関与もあるであろうと想定して実験を行った。即ち、エンドキサンで免疫抑制されたラットに変形菌による腎盂腎炎を発症せしめた際、種々のリンパ系細胞移入による adoptive immunity がいかなる効果をもたらすかを検討した。移入に用いた細胞は免疫脾細胞、正常胸腺細胞および正常脾細胞の 3 種である。その結果、正常脾細胞を移入された群に比べ他の 2 群には腎盂腎炎の発症を軽症に抑える効果があることが分った。各群の血清抗体価測定結果と併せ考察すると、本症の発症に対し細胞免疫が感染防禦的に関与することがつよく示唆された。

#### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は腎盂腎炎の細胞性免疫について実験的に研究したものであるが、従来十分確立されていなかった腎盂腎炎におけるリンパ球免疫の役割とくにその発症抑制について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。